

# 来年6月に沖縄で開催

## WUB世界大会が閉幕

### Iネット活用し人材育成へ

99.8.14

【ロサンゼルス12日宜保 靖】ロサンゼルスで九日から開催されている第三回WUB世界大会は、会場をラスベガスに移し十二日午前（日本時間十三日未明）、最後のWUB会議を開き、これまでの成果と今後の活動について話し合い、沖縄サミット前の来年六月に第四回WUB世界大会を沖縄で開催することを決めた。

四日間にわたって開催された第三回WUB会議は、同日午後のさよならパーティーで閉幕した。期間中の会議で、単にビジネスだけでなく人材育成を含めた教育にも力を入れてWUBが、各国の県系

人企業家の業種ごとの組織化、広報誌の発行、WUB投資会社の設立などの発表があり、今後、具体的に実行していくことが確認された。

特に北米WUBは、会員の中に、米政府の外交関係に携わる者や大学教授、弁護士、ハイテク産業の経営者など多彩な人材がいることから、インターネットでネットワークを組織し、県の依頼があれば、沖縄の良さを要請を、米政府の高官にPRするロビー活動を展開するほか、人材育成のための留学生の受け入れ、大学教員同士の連携などさまざまな企画を報告した。

さらに今回の会議でWUBの中に①インターネット ②流通 ③建設 ④不動産 ⑤旅行業 ⑥サミット支援コミッションの六つの委員会

が結成された。インターネット関連は、各WUBの支部が密接な連絡を取り合うため、ホームページを開設し、会員の紹

介、会員の意見を吸い上げる。サミット関連では、サミットで、どのような形で沖縄を世界にPRできるか、外国のウチナーンチュの視点で提言書をまとめWUB本部に報告。報告を基に県に提言するほか、県の施策を支援する。

WUB会議で、ロバート仲宗根WUBインターナショナル会長は「国際的な民族ネットワークの基本となるのは教育と文化。世界の沖縄コミュニティが十年後、五十年後、百年後どう